

平成27年度

金 拔 設 計 書

【町単独土地改良工事】

当 初

~~—第1回変更—~~

~~—出 来 形—~~

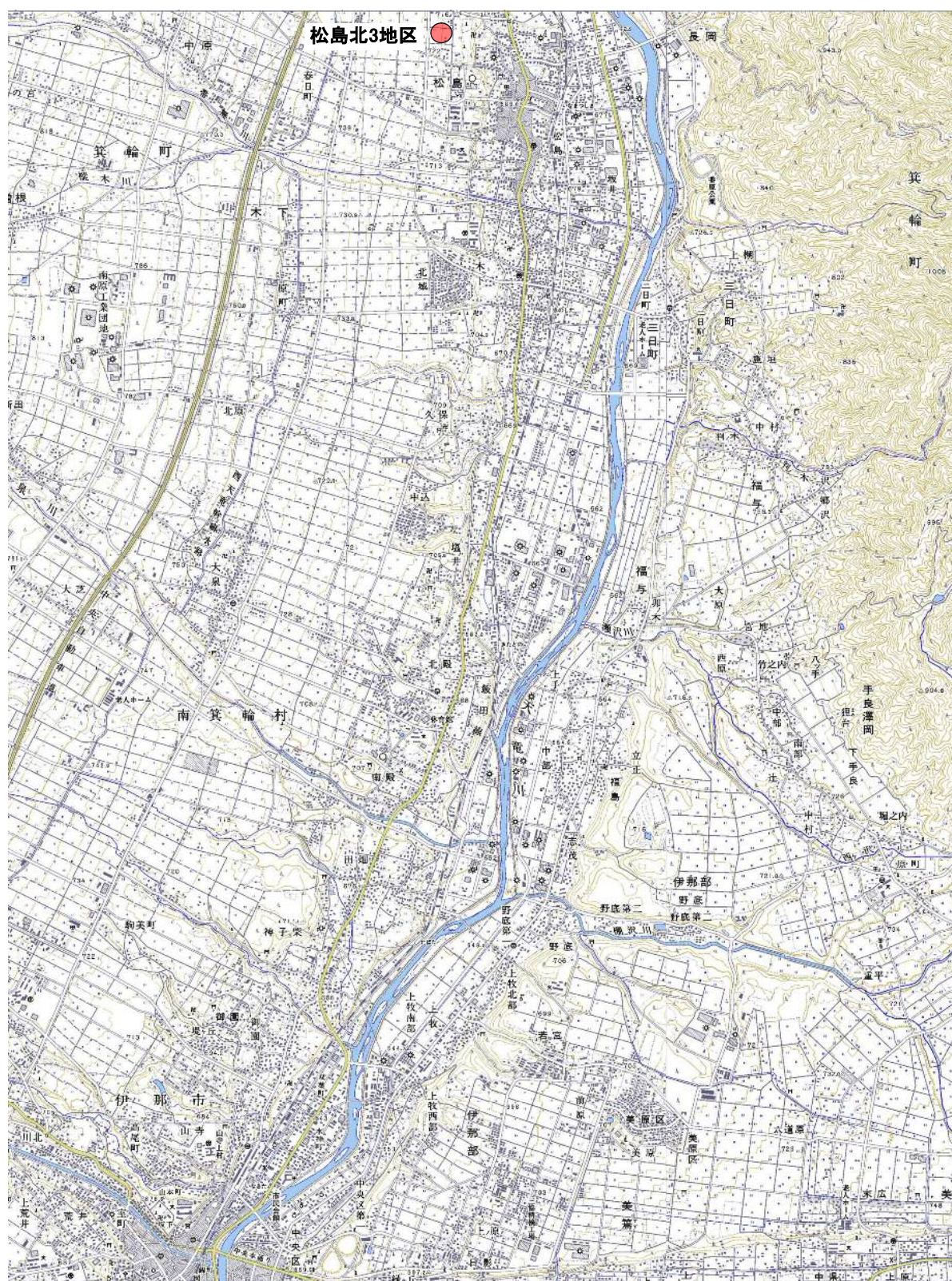
地 区 名 松島北3

所 在 地 上伊那郡箕輪町松島

事業主体名 箕輪町

位置図

S=1:50,000



町単独土地改良工事 特別仕様書

第1章 総 則

平成27年度町単独土地改良工事松島北3地区の施工に当たっては、長野県農政部制定の「土木工事 共通仕様書（平成27年10月一部改正）」（以下「共通仕様書」という）に基づいて実施する。

また、施工管理は「土木工事施工管理基準 平成27年10月1日適用 長野県農政部」（以下「管理基準」という）を使用して施工管理を行い、検査は管理基準の規格値を用いて「長野県建設工事等 検査要綱」により検査を行うものとする。

なお、下記資料は長野県公式ホームページを参照。

共通仕様書 <http://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kensei/nyusatsu/sekisankijun/kensetsu.html>
施工管理基準他

<http://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kensei/nyusatsu/sekisankijun/nogyonosonseibi.html>

土木工事現場必携 <http://www.pref.nagano.lg.jp/gijukan/infra/kensetsu/gijutsu/renewal.html>

共通仕様書に対する特記および追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目 的

この工事は、町単独土地改良工事の一環として水路を改修するために行うものである。

2. 工事場所

長野県上伊那郡箕輪町松島地内

3. 工事概要

この工事の概要は次のとおりである。

1) 水路延長

L=162.7m

2) 水路方式

BF-250（ジョイント型）

4. 工事数量

別冊金抜設計書による。

第3章 施工条件

1. 工程制限

該当なし。

2. 部分引渡し

該当なし。

3. 工事期間

着手日から平成 年 月 日までとする。

第4章 現場条件

1. 土 質

土質は共通仕様書第3章第3節3－3－1条に示す砂質土を想定している。

また、想定と異なる土質が出現した場合は、監督員と協議を行うこととする。

2. 第三者に対する処置

施工に際しては、振動、騒音、安全対策に十分留意しなければならない。

3. 公道に隣接する工事

公道の利用または公道に隣接する場合にあたっては、標識・安全施設の設置、工事全般の安全管理上の監視等を十分実施して、安全対策に万全を期すなど、工事の施工にあたっては、これを遵守しなければならない。

4. 建設副産物の処理

別添1のとおり。

5. 関連工事

該当なし。

6. 関係機関との調整

請負者が工事着手前に行う地権者及び関係官公署等との協議、調整は監督員の指示を事前に受けるものとする。

第5章 指定仮設

該当なし。

第6章 工事用地等

該当なし。

第7章 工事用電力

この工事に使用する電力設備及び、電力料金は請負者の負担とする。

第8章 工事用材料

1. 規格及び品質

この工事で使用する主要材料の規格及び品質は図示のとおりであり、各製品とも規格、寸法、製作会社名等、製品の品質、特質等が判るよう使用承認願を監督員に提出し、承認を得るものとし監督員からの指示があった場合は各種品質試験結果を提出すること。

(1) 製品

- ・BF-250 (ジョイント型)
- ・普通掛口250型
- ・導水口150型
- ・落差フリューム250型
- ・トランジションフリューム300型

(2) コンクリート

コンクリートはJIS A 5308 レディミクストコンクリートによる標準品とし、配合は次の通りとする。

種 類	呼び強度(圧縮)	スランプ	最大骨材寸法	w/c(水セメント比)	セメント種類
無筋コンクリート	$\sigma_{28}=18\text{N/mm}^2$	8cm	25mm or 40mm	60%以下	高炉セメント(BB)

やむを得ず、他のセメントを使用する場合は施工協議を行うこと。

(3) その他資材

再生クラッシャーラン40

硬質塩化ビニル管 (VU) $\phi 125$

(本工事における砕石は再生材料を使用することを原則とするが、プラント等に在庫がなかった場合等工事に支障をきたす場合はこの限りでない。)

第9章 施 工

1. 一般事項

(1) 水 準 点

この工事の水準点は、図面に示すKBMを使用しなければならない。

(2) 検測又は確認

監督員と打ち合わせをし、必要に応じて確認しなければならない。

2. 土 工

共通仕様書第1編第3章第3節による。

3. 水路工

共通仕様書第2編第5章による。

4. 付帯工

既製品の使用に当たっては、施工協議後速やかに使用承認を得てから設置すること。

第10章 排出ガス対策型建設機械の使用

別添3のとおり。

第11章 工程管理

工事の施工にあたっては、特に天候等の自然状態により工程に影響を及ぼすので、監督員と密接な連絡をとり適切な工程管理を行わなければならない。

第12章 工事の出来形及び検査

- (1) この工事を完成するための施工計画書の提出
- (2) 工事出来形図書の提出
- (3) その他監督員の必要とする資料の提出
- (4) 検査については①既製品の検査②工事中の検査③工事出来形の検査を行うものとする。

第13章 施工管理

共通仕様書第1章第1節1-1-33条による。

第14章 契約書第18条（条件変更等）の補足説明

この工事の施工にあたり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は次のとおりである。

1. 掘削土の土質
2. 地下埋設物（埋蔵文化財を含む）の出現
3. 排出ガス対策型建設機械を使用しない場合
4. その他監督員に認められたもの

第15章 定めなき事項

この仕様書に定めない事項又は、この工事の施工にあたり疑義が生じた場合には、必要に応じて監督員と協議するものとする。

第16章 その他

- (1) 工事区域内外の安全については、労働基準法、その他関係法規を厳守し、安全対策に万全を期すこと。また、資材の仮置場での事故の発生のないように、十分な配慮を行うものとする。
- (2) 施工計画書の作成にあたっては、契約後速やかに起工測量を行い、現場を確認し早期に提出、協議を行うものとする。
- (3) 任意仮設における仮設道路の耕起復旧は監督員および地権者と協議を行い、復旧後には確認を得るものとする。
- (4) 田排水管（VUφ125）の施工については監督員および地権者と協議を行い、確認を得て設置するものとする。

別添1 建設副産物に関する取り扱い

1. 共通事項

- (1) 「再生資源の利用促進に関する法律」等に基づき、本工事に係る再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出すること。また、工事完成後速やかに上記計画の実施状況（実績）について、再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書を作成し、竣工書類とともに提出すること。

なお、これらの記録は工事完成後1年間保存しておくこと。また、各様式については、監督員の指示に従うこと。

- (2) 建設産業廃棄物の収集運搬及び処分について

ア 建設産業廃棄物の収集運搬及び処分を委託する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と必ず書面による委託契約を締結すること。

イ 処理委託は、収集運搬業者と処分業者のそれぞれとの委託契約書を締結すること。

ウ 産業廃棄物処理業の許可証を確認し、委託契約書に許可証の写しを添付すること。

（扱える産業廃棄物の種類、処理方法及び許可の有効期限を確認していること。）

エ 発注者から直接工事を請け負った元請業者が排出事業者となり、元請業者が建設廃棄物の処理責任を負う。

オ 建設廃棄物の収集運搬及び処分を委託する場合は、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付すること。

カ 上記アからオについては、竣工検査までに監督員の確認を受け、竣工書類に以下の書類の写しを添付すること。

- ①収集運搬と処分それぞれの委託契約書の写し（請負業者が両方の許可を持つ場合はひとつ）

- ②委託契約書に添付された許可証の写し

- ③マニフェストのA票、B2票、D票、E票の写し（D票、E票については、後日であっても差し支えない。）

キ D票がマニフェストを交付した日から90日以内、E票がマニフェストを交付した日から180日以内に送付されていない場合は、地方事務所生活環境課又は県廃棄物監視指導室に報告すること。

ク 請負者が施工計画書の記載又は整備すべき事項

処理方法	1 再資源化	2 破碎処理	3 焼却処理	4 埋立処分場	5 その他
処理先 (業者)	業者名		許可番号		
	住所				
運搬委託先 (委託の場合)	業者名		許可番号		
	住所				
その他	資源化の方法など				

・添付書類

- 1) 処理先の許可証の写し及び（収集運搬を委託する場合）収集運搬業者の許可証の写し
- 2) 請負者の処理又は運搬業者との契約書の写し
- 3) 処理業者の所在地及び計画ルート

別添 3 排出ガス対策型建設機械の使用

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「土地改良事業等請負工事標準機械経費算定基準」（昭和58年2月28日付 5 8 構改D第 1 4 7 号）で示す排出ガス対策型建設機械の使用するものとする。

排出ガス対策型建設機械を使用できない場合でも、平成 7 年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の装着黒煙浄化装置の開発」または、これと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することで、排出ガス対策型と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は監督員と協議すること。

排出ガス対策型建設機械あるいは装着黒煙浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

対象機種一覧

一般工事用建設機械	備 考
バックホウ	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw～260kw）を搭載した建設機械に限る。

備 考

道路運送車両の保安基準に排出ガス基準を定められている自動車の種別で、有効な自動車検査証の交付を受けているものを除く。

（注）協議の対象となる場合とは、

- ① 工事地域周辺の市町村にあるリース会社に排出ガス対策型建設機械、あるいは同等な建設機械の在庫がない。
- ② 工事地域周辺の市町村にあるメーカーの販売店から排出ガス対策型建設機械、あるいは同等な建設機械を調達するのに大幅な時間がかかる。

等を証明する書類を提出した場合に限る。

総括情報表

頁0-0001

適用単価地区 単価等適用日	43 4 伊那（1） 27.12.01		
	当 世 代		前 世 代
工種 契約保証方法 前払率（%） 消費税率（%）	05 水路工事 03 補正なし 40 08		
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象とはなりませんのでご理解願います。		

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0002

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊						
水路工						
水路土工						
掘削工						
			式			
地山掘削積込：小規模 バックホ 標準 排対型	8	m 3				0 施工 第0-0012号表
床掘（作業土工）：小規模 バックホ	39	m 3				0 施工 第0-0006号表
盛土工						
			式			
積込（投入）：小規模 バックホ 標準 排対型	19	m 3				0 施工 第0-0008号表
盛土 まき出し 砂・砂質土 締固めあり タンパ（Ⅰ）	17	m 3				0 施工 第0-0013号表

(工事費内訳書)

本工事費

頁0-0003

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻工						
			式			
積込（投入）：小規模 バックホ 標準 排対型						0
	28	m 3				施工 第0-0008号表
埋戻 まき出し 砂・砂質土 締固めあり タンパ（I）						0
	25	m 3				施工 第0-0014号表
整形仕上げ工						
			式			
整形工（法面仕上げ） 盛土法面削取整形 バックホウ 0.6m 3級（排対型） 盛土法面 砂質土 削り取り整形						0
	44	m 2				施工 第0-0015号表
不足土運搬工						
			式			
積込（投入）：小規模 バックホ 標準 排対型						0
	1	m 3				施工 第0-0008号表
運搬（小規模） ダンプトラック：D I D無し 土砂 2 t 積級ダンプ 運搬距離 2.5 km以下						0
	1	m 3				施工 第0-0017号表
開渠工						

(工事費内訳書)

** 本工事費 **

頁0-0004

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
プレキャスト開渠工						
			式			
[ベンチフリューム据付工 L=2000] ジョイント形 250 基礎碎石有 敷材有 50m以上	155.6	m				0 施工 第0-0019号表
掛口工布設 普通掛口250型 50m以上 基礎碎石有り RC-40	9	箇所				0 施工 第0-0020号表
[導水工 (L=600)] 規格150 150×150×600 基礎碎石無 敷材無 50m以上	5.4	m				0 施工 第0-0021号表
落差フリューム (RF) 工 RF 250型 50m以上 基礎碎石有り RC-40	1	箇所				0 施工 第0-0022号表
トランジションフリューム (TF) 工 TF 300型 50m以上 基礎碎石有り RC-40	1	箇所				0 施工 第0-0023号表
現場打水槽工 M5×5×5型	1	箇所				科目 第0001号表
現場打水槽工 M7×7×7型	1	箇所				科目 第0002号表
硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) 布設 薄肉管VU 直管 (両差し口) 4.0m 125mm管 人力	12.4	m				0 施工 第0-0024号表

(工事費内訳書)

本工事費

頁0-0005

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
型枠工（一般型枠） 小型構造物						0
	23		m ²			施工 第0-0003号表
コンクリート打設 人力 18-8-40 (W/C=60%以下) (高炉B) 小運搬計上しない小型構造物						0
	3.3		m ³			施工 第0-0025号表
養生 練炭養生 小型構造物						0
	3.3		m ³			施工 第0-0005号表
基礎砕石工 再生クラッシャーラン RC-40 敷均し厚0.1m						0
	12		m ²			施工 第0-0026号表
構造物撤去工						
[構造物とりこわし] 人力施工 施工規模が3m ³ 未満 無筋構造物						0
	0.6		m ³			施工 第0-0027号表
とりこわしコンクリート殻処理工						0
	3.2		m ³			施工 第0-0028号表
産業廃棄物処理工						
産業廃棄物運搬工						
			式			

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0006

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊産業廃棄物処分費＊						
運搬(小規模) ダンプトラック：D I D無し 無筋Co殻 運搬距離 7. 0 k m以下						0
	0. 6	m 3				施工 第0-0030号表
運搬(小規模) ダンプトラック：D I D無し 二次製品 運搬距離 7. 0 k m以下						0
	3. 2	m 3				施工 第0-0031号表
産業廃棄物処理工						
			式			
＊産業廃棄物処分費＊						
無筋コンクリート塊処理費 中間処理場						0
	1. 4	t				施工 第0-0032号表
二次製品コンクリート塊処理費 中間処理場						0
	7. 4	t				施工 第0-0033号表
任意仮設工						
仮設道路工						
			式			

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0007

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設道路 W=3.0m						科目 第0003号表
	210		m			
＊ ＊ 直接工事費 ＊ ＊						
＊ ＊ 共通仮設 費率分 ＊ ＊						
＊ ＊ 共通仮設費計 ＊ ＊						
＊ ＊ 純工事費 ＊ ＊						
＊ 現場管理費 ＊						
＊ ＊ 工事原価 ＊ ＊						
＊ 一般管理費 等 ＊						
＊ ＊ 工事価格計 ＊ ＊						

(工事費内訳書)

*** * 本工事費 * ***

頁0-0008

[illegible]

施 工 名 称 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基礎砕石工 再生クラッシャーラン RC-40 敷均し厚0.15m						0
		1.00	m ²			施工 第0-0001号表
型枠工（一般型枠） 小型構造物						0
		3.08	m ²			施工 第0-0003号表
コンクリート打設 人力 18-8-25 (W/C=60%以下) (高炉B) 小運搬計上しない小型構造物						0
		0.29	m ³			施工 第0-0004号表
養生 練炭養生 小型構造物						0
		0.29	m ³			施工 第0-0005号表
*** 単位当り ***						
		1	箇所			

施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基礎砕石工 再生クラッシャーラン RC-40 敷均し厚0.15m						0
		1.44	m2			施工 第0-0001号表
型枠工（一般型枠） 小型構造物						0
		5.36	m2			施工 第0-0003号表
コンクリート打設 人力 18-8-25(W/C=60%以下)（高炉B） 小運搬計上しない小型構造物						0
		0.51	m3			施工 第0-0004号表
養生 練炭養生 小型構造物						0
		0.51	m3			施工 第0-0005号表
*** 単位当り ***						
		1	箇所			

W=3.0m		100		m	
施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
床掘（作業土工）：小規模　ハック材					0
	60.00	m 3			施工 第0-0006号表
積込（投入）：小規模　ハック材 標準 排対型					0
	60.00	m 3			施工 第0-0008号表
耕地復旧（耕起） 石礫雑物除去必要無し					0
	0.05	h a			施工 第0-0010号表
*** 合 計 ***					
	100	m			
*** 単位当り ***					
	1	m			

数量計算調書

松島北3地区 計算調書

当初・変更

レベル3.4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
水路土工						
掘削		別紙土積計算書より	7.6	≒ 8	m3	S0019
床堀		〃	38.6	≒ 39	m3	S0019
盛土投入		$17.0^{[m^2]}/0.9=$	18.9	≒ 19	m3	S0019
締固め		別紙土積計算書より	17.0	≒ 17	m3	S0008
埋戻土投入		$25.2^{[m^2]}/0.9=$	28.0	≒ 28	m3	S0019
締固め		別紙土積計算書より	25.2	≒ 25	m3	S0008
法面仕上げ	盛土法面	〃	43.8	≒ 44	m2	S0044
不足土積込		〃	-0.8	≒ -1	m3	S0019
不足土運搬	L=2.0km	〃	-0.8	≒ -1	m3	S0020

土 積 計 算 書

松島北3地区

[illegible]

松島北3地区 計算調書

当初・変更

レベル3.4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
開渠工						
ベンチフリューム布設	250(ジョイント型)	$162.7^{[m]} - (0.5^m \times 9^{\text{箇所}}) \text{掛口}^{[m]} - 2.0^{\text{RF}^{[m]}} - 0.6^{\text{水槽}^{[m]}} =$	155.6	≒ 155.6	m	SS084
掛口布設	普通250型		9.0	≒ 9	箇所	S3011
導水工	L=0.6m	$0.6^{[m]} \times 9^{\text{箇所}} =$	5.40	≒ 5.4	m	SS080
落差フリューム	250型		1.0	≒ 1	箇所	S3090
トランジションフリューム	300型		1.0	≒ 1	箇所	S3083
現場打水槽工	M5×5×5型		1.0	≒ 1	箇所	G1001
現場打水槽工	M7×7×7型		1.0	≒ 1	箇所	G1002
田排水管布設	VUφ125mm	$1.6^{[m]} + 1.6^{[m]} + 1.6^{[m]} + 1.1^{[m]} + 0.8^{[m]} + 0.9^{[m]} + 0.9^{[m]} + 0.8^{[m]} + 0.9^{[m]} + 0.9^{[m]} + 1.3^{[m]} =$	12.40	≒ 12.4	m	S0173

松島北3地区 計算調書

当初・変更

レベル3.4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
嵩上工						
型枠	No.2～No.3(L=18m)	$\{(0.15+0.27) \div 2\} \text{幅[m]} \times 0.41 \text{高さ[m]} \times 2 \text{[面]} =$	0.17			
		$18.0 \text{延長[m]} \times (0.20 \text{前面[m]} + 0.43 \text{裏面[m]}) =$	11.34			
	No.5～No.6(L=4m)	$\{(0.15+0.27) \div 2\} \text{幅[m]} \times 0.41 \text{高さ[m]} \times 2 \text{[面]} =$	0.17			
		$4.0 \text{延長[m]} \times (0.20 \text{前面[m]} + 0.43 \text{裏面[m]}) =$	2.52			
	No.5～No.6(L=8m)	$\{(0.20+0.32) \div 2\} \text{幅[m]} \times 0.61 \text{高さ[m]} \times 1 \text{[面]} =$	0.16			
		$8.0 \text{延長[m]} \times (0.40 \text{前面[m]} + 0.64 \text{裏面[m]}) =$	8.32			
	計		22.68	≒ 23	m2	S0068
生コンクリート打設	No.2～No.3(L=18m)	$18.0 \text{延長[m]} \times \{(0.15+0.27) \div 2\} \text{幅[m]} \times 0.41 \text{高さ[m]} =$	1.55			
	No.5～No.6(L=4m)	$4.0 \text{延長[m]} \times \{(0.15+0.27) \div 2\} \text{幅[m]} \times 0.41 \text{高さ[m]} =$	0.34			
	No.5～No.6(L=8m)	$8.0 \text{延長[m]} \times \{(0.20+0.38) \div 2\} \text{幅[m]} \times 0.61 \text{高さ[m]} =$	1.42			
	計		3.31	≒ 3.3	m3	S0061
養生	練炭養生	生コン数量と同じ	3.31	≒ 3.3	m3	S0073

松島北3地区 計算調書

当初・変更

レベル3.4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
基礎砕石工	RC-40 t=10cm	$(18.0+4.0)^{\text{延長[m]}} \times 0.37^{\text{幅[m]}} =$	8.14			
		$8.0^{\text{延長[m]}} \times 0.48^{\text{幅[m]}} =$	3.84			
			11.98	≡ 12	m2	S0162
構造物撤去工						
既設構造物撤去工	現場打落差工	$0.5^{\text{延長[m]}} \times 0.45^{\text{幅[m]}} \times 0.4^{\text{高さ[m]}} =$	0.09			
(無筋コンクリート)		$1.3^{\text{延長[m]}} \times 0.1^{\text{幅[m]}} \times \{(0.4+0.7) \div 2\}^{\text{高さ[m]}} \times 2^{\text{箇所}} =$	0.14			
	嵩上げ工	$(18.0+4.0)^{\text{延長[m]}} \times 0.05^{\text{幅[m]}} \times 0.2^{\text{高さ[m]}} =$	0.22			
		$8.0^{\text{延長[m]}} \times 0.05^{\text{幅[m]}} \times 0.40^{\text{高さ[m]}} =$	0.16			
	計		0.61	≡ 0.6	m3	SS010
既設構造物撤去工	二次製品(BF200)	$(162.7+2.0)^{\text{[m]}} \times (0.09^{\text{[t]}} \div 2) \div 2.35^{\text{[t/m]}} =$	3.15	≡ 3.2	m3	S0976

松島北3地区 計算調書

当初・変更

レベル3.4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
産業廃棄物処理工						
産業廃棄物運搬工						
Co廃材運搬	L=7.0km	撤去工と同じ	0.61	≒ 0.6	m3	S0020
二次製品廃材運搬	L=7.0km	撤去工と同じ	3.15	≒ 3.2	m3	S0020
産業廃棄物処理工						
廃材処理費	無筋Co	$0.60^{[m]} \times 2.35^{[t/m^3]} =$	1.41	≒ 1.4	t	S3902
廃材処理費	二次製品	$(162.7+2.0)^{[m]} \times (0.09^{[t]} \div 2) =$	7.41	≒ 7.4	t	S3902
任意仮設工						
仮設道路	W=3.0m	$144^{[m]} + 66^{[m]} =$	210.0	≒ 210	m	G1003

グループ単価表

グループ単価表

当初・変更

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
G1001 現場打水槽工 M5×5×5型			1箇所当り			
基礎材	RC-40 t=15cm	土地改良事業標準設計参照	1.00	≡ 1.00	m2	S0162
型枠	小構造物	土地改良事業標準設計参照	3.08	≡ 3.08	m2	S0068
生コンクリート	18-8-25BB	土地改良事業標準設計参照	0.29	≡ 0.29	m3	S0061
養生	練炭養生	同上	0.29	≡ 0.29	m3	S0073

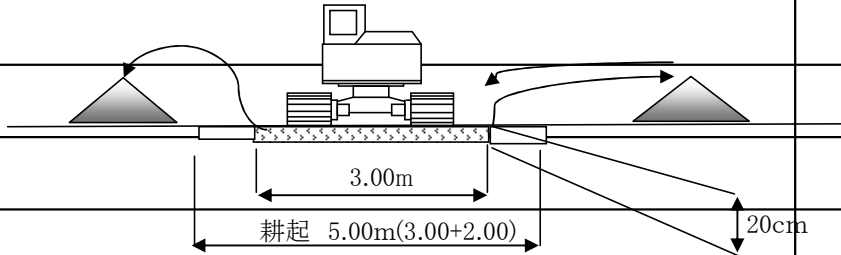
グループ単価表

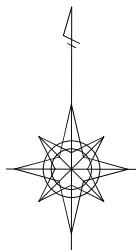
当初・変更

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
G1002 現場打水槽工 M7×7×7型			1箇所当り			
基礎材	RC-40 t=15cm	土地改良事業標準設計参照	1.44	≡ 1.44	m2	S0162
型枠	小構造物	土地改良事業標準設計参照	5.36	≡ 5.36	m2	S0068
生コンクリート	18-8-25BB	土地改良事業標準設計参照	0.51	≡ 0.51	m3	S0061
養生	練炭養生	同上	0.51	≡ 0.51	m3	S0073

グループ単価表

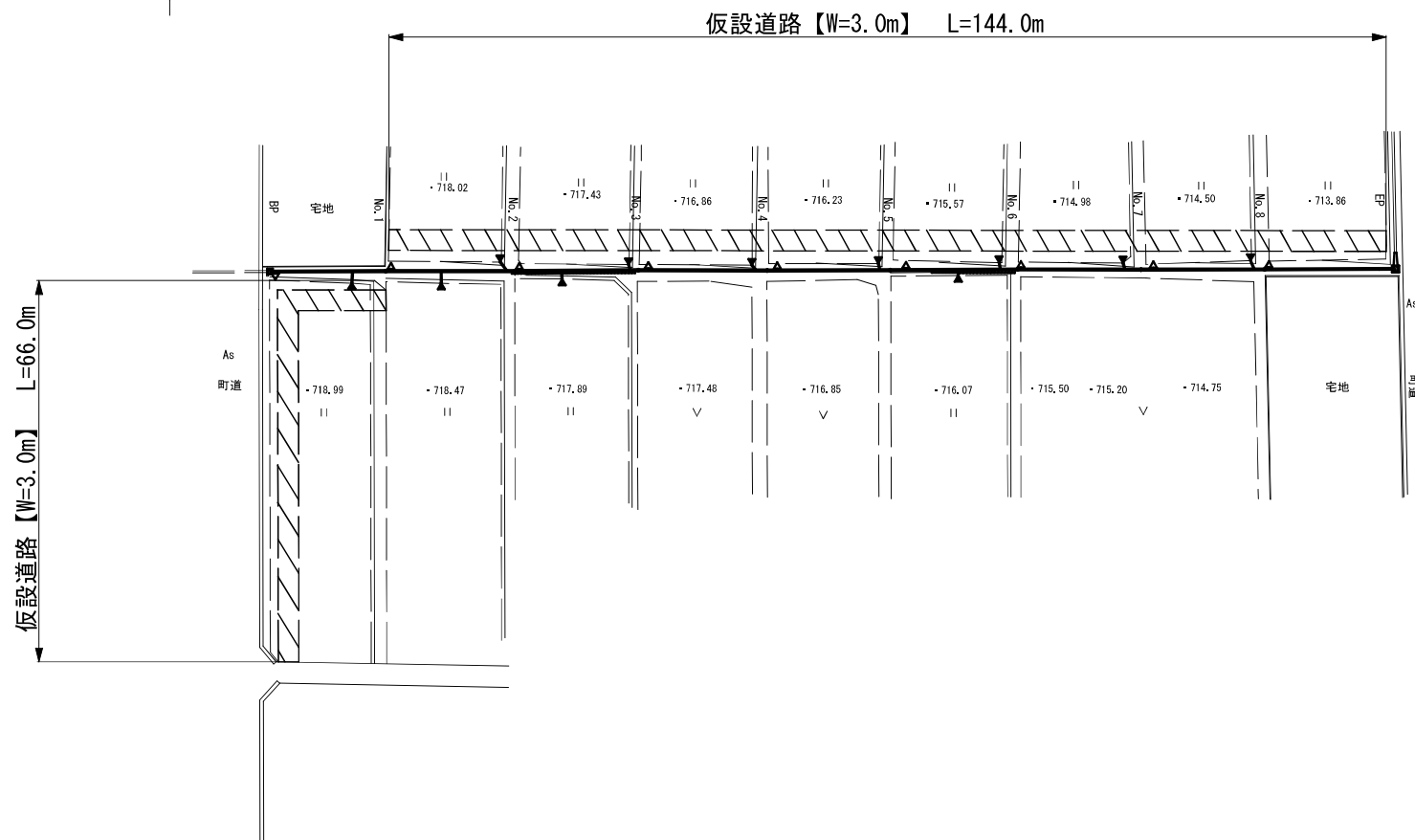
当初・変更

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
G1003 仮設道路 W=3.0m			100m当り			
表土剥ぎ取り	床掘	$100.0^{[m]} \times 3.0^{[m]} \times 0.2^{[m]} =$	60.00	≡ 60.00	m3	S0019
表土戻し	投入	$100.0^{[m]} \times 3.0^{[m]} \times 0.2^{[m]} =$	60.00	≡ 60.00	m3	S0019
耕地復旧	耕起	$100.0^{[m]} \times 5.0^{[m]} \div 10,000 =$	0.05	≡ 0.05	ha	S0506
		施工断面図				
		①表土剥ぎ取り ②表土戻し ③耕起				
						



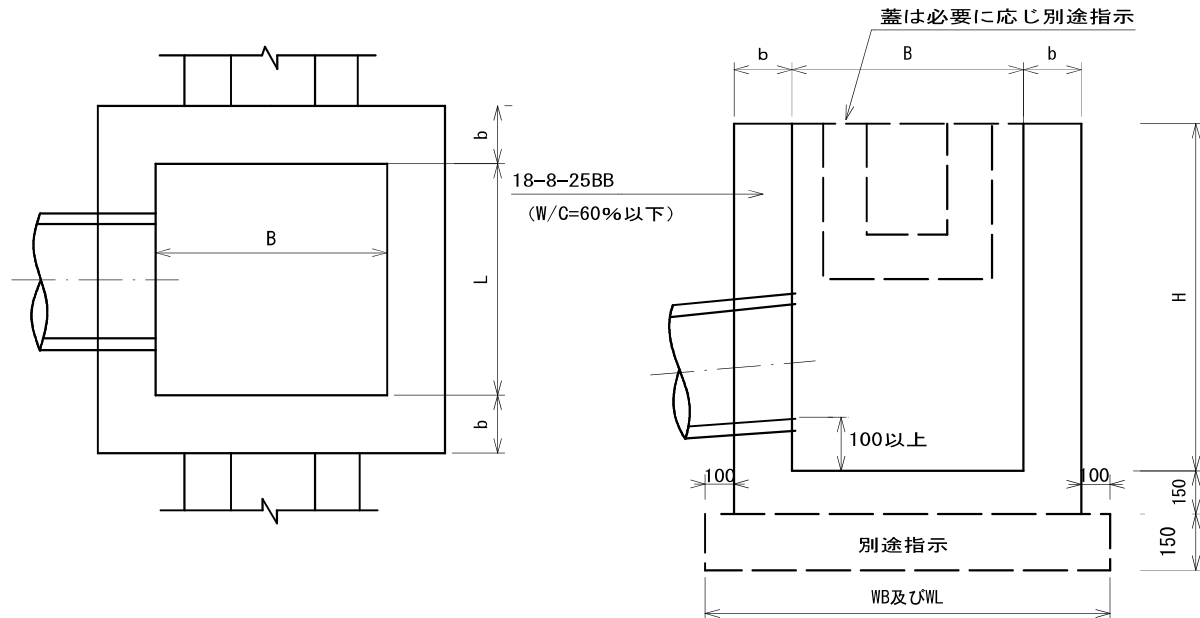
仮設図

S=1/1000



土地改良事業標準設計

現場打水槽工



注 意 事 項

1. 水路の屈曲及び合流個所に適用する。
2. 基礎材を施工する場合は、別途指示する。直接基礎の場合は再生クラッシャーラン15mmを標準とする。
3. 柵は無筋コンクリートとしてあるが、補助鉄筋を施工する場合は別途Co配合・均しコンクリート等指示する。
4. 蓋を施工する場合は、別途指示する。
5. 水槽の深さが1mを超える場合は足掛金物を設けることが望ましい。施工する場合は別途指示する。
6. 路肩またはその外に設置することを原則とし、車道内に設置する場合は別途設計すること。
7. 数量表中のコンクリート及び型枠数量は、流入・流出のための側溝類・パイプ類による控除分、並びにグレーチング受枠による控除分が考慮されていない。

土地改良事業標準設計

工種	農道	区分	
図面名称	現場打水槽工		
コード	(参考図)		

単位：mm

現場打水槽工数量表

注 意 事 項

形式	幅 (B)	長さ (L)	深さ (H)	壁厚 (b)	基礎幅 (WB)	基礎長 (WL)	基礎材 m2	型枠 m2	コンクリート m3
M-4×5×5	400	500	500	150	900	1000	0.90	2.85	0.26
M-4×5×7	400	500	700	150	900	1000	0.90	3.81	0.34
M-4×5×9	400	500	900	150	900	1000	0.90	4.77	0.41
M-4×5×10	400	500	1000	150	900	1000	0.90	5.25	0.44
M-4×5×12	400	500	1200	200	1000	1100	1.10	6.75	0.73
M-4×6×5	400	600	500	150	900	1100	0.99	3.08	0.29
M-4×6×7	400	600	700	150	900	1100	0.99	4.12	0.37
M-4×6×9	400	600	900	150	900	1100	0.99	5.16	0.45
M-4×6×10	400	600	1000	150	900	1100	0.99	5.68	0.48
M-4×6×12	400	600	1200	200	1000	1200	1.20	7.26	0.79
M-4×8×5	400	800	500	150	900	1300	1.17	3.54	0.34
M-4×8×7	400	800	700	150	900	1300	1.17	4.74	0.43
M-4×8×9	400	800	900	150	900	1300	1.17	5.94	0.52
M-4×8×10	400	800	1000	150	900	1300	1.17	6.54	0.57
M-4×8×12	400	800	1200	200	1000	1400	1.40	8.28	0.91
M-5×5×5	500	500	500	150	1000	1000	1.00	3.08	0.29
M-5×5×7	500	500	700	150	1000	1000	1.00	4.12	0.37
M-5×5×9	500	500	900	150	1000	1000	1.00	5.16	0.45
M-5×5×10	500	500	1000	150	1000	1000	1.00	5.68	0.49
M-5×5×12	500	500	1200	200	1100	1100	1.21	7.26	0.79
M-5×6×5	500	600	500	150	1000	1100	1.10	3.31	0.32
M-5×6×7	500	600	700	150	1000	1100	1.10	4.43	0.40
M-5×6×9	500	600	900	150	1000	1100	1.10	5.55	0.49
M-5×6×10	500	600	1000	150	1000	1100	1.10	6.11	0.53
M-5×6×12	500	600	1200	200	1100	1200	1.32	7.77	0.86
M-5×8×5	500	800	500	150	1000	1300	1.30	3.77	0.37
M-5×8×7	500	800	700	150	1000	1300	1.30	5.05	0.47
M-5×8×9	500	800	900	150	1000	1300	1.30	6.33	0.56
M-5×8×10	500	800	1000	150	1000	1300	1.30	6.97	0.61
M-5×8×12	500	800	1200	200	1100	1400	1.54	8.79	0.98
M-6×6×5	600	600	500	150	1100	1100	1.21	3.54	0.35
M-6×6×7	600	600	700	150	1100	1100	1.21	4.74	0.44
M-6×6×9	600	600	900	150	1100	1100	1.21	5.94	0.53
M-6×6×10	600	600	1000	150	1100	1100	1.21	6.54	0.57
M-6×6×12	600	600	1200	200	1200	1200	1.44	8.28	0.92
M-6×8×5	600	800	500	150	1100	1300	1.43	4.00	0.40
M-6×8×7	600	800	700	150	1100	1300	1.43	5.36	0.51
M-6×8×9	600	800	900	150	1100	1300	1.43	6.72	0.61
M-6×8×10	600	800	1000	150	1100	1300	1.43	7.40	0.66
M-6×8×12	600	800	1200	200	1200	1400	1.68	9.30	1.04
M-7×7×5	700	700	500	150	1200	1200	1.44	4.00	0.41
M-7×7×7	700	700	700	150	1200	1200	1.44	5.36	0.51
M-7×7×9	700	700	900	150	1200	1200	1.44	6.72	0.61
M-7×7×10	700	700	1000	150	1200	1200	1.44	7.40	0.66
M-7×7×12	700	700	1200	200	1300	1300	1.69	9.30	1.05
M-7×7×14	700	700	1400	200	1300	1300	1.69	10.7	1.19

形式	幅 (B)	長さ (L)	深さ (H)	壁厚 (b)	基礎幅 (WB)	基礎長 (WL)	基礎材 m2	型枠 m2	コンクリート m3
M-8×8×5	800	800	500	150	1300	1300	1.69	4.46	0.47
M-8×8×7	800	800	700	150	1300	1300	1.69	5.98	0.58
M-8×8×9	800	800	900	150	1300	1300	1.69	7.50	0.69
M-8×8×10	800	800	1000	150	1300	1300	1.69	8.26	0.75
M-8×8×12	800	800	1200	200	1400	1400	1.96	10.3	1.18
M-8×8×14	800	800	1400	200	1400	1400	1.96	11.9	1.34
M-8×8×16	800	800	1600	200	1400	1400	1.96	13.5	1.50
M-9×9×7	900	900	700	150	1400	1400	1.96	6.60	0.66
M-9×9×9	900	900	900	150	1400	1400	1.96	8.28	0.78
M-9×9×10	900	900	1000	150	1400	1400	1.96	9.12	0.85
M-9×9×12	900	900	1200	200	1500	1500	2.25	11.3	1.31
M-9×9×14	900	900	1400	200	1500	1500	2.25	13.1	1.49
M-9×9×16	900	900	1600	200	1500	1500	2.25	14.9	1.66
M-9×9×18	900	900	1800	200	1500	1500	2.25	16.6	1.84
M-10×10×10	1000	1000	1000	150	1500	1500	2.25	10.0	0.94
M-10×10×12	1000	1000	1200	200	1600	1600	2.56	12.4	1.45
M-10×10×14	1000	1000	1400	200	1600	1600	2.56	14.3	1.64
M-10×10×16	1000	1000	1600	200	1600	1600	2.56	16.2	1.83
M-10×10×18	1000	1000	1800	200	1600	1600	2.56	18.1	2.02
M-10×10×20	1000	1000	2000	200	1600	1600	2.56	20.0	2.21
M-12×12×10	1200	1200	1000	150	1700	1700	2.89	11.7	1.15
M-12×12×12	1200	1200	1200	200	1800	1800	3.24	14.4	1.73
M-12×12×14	1200	1200	1400	200	1800	1800	3.24	16.6	1.95
M-12×12×16	1200	1200	1600	200	1800	1800	3.24	18.9	2.18
M-12×12×18	1200	1200	1800	200	1800	1800	3.24	21.1	2.40
M-12×12×20	1200	1200	2000	200	1800	1800	3.24	23.4	2.62
M-14×14×10	1400	1400	1000	150	1900	1900	3.61	13.4	1.36
M-14×14×12	1400	1400	1200	200	2000	2000	4.00	16.4	2.02
M-14×14×14	1400	1400	1400	200	2000	2000	4.00	19.0	2.28
M-14×14×16	1400	1400	1600	200	2000	2000	4.00	21.6	2.53
M-14×14×18	1400	1400	1800	200	2000	2000	4.00	24.1	2.79
M-14×14×20	1400	1400	2000	200	2000	2000	4.00	26.7	3.05
M-15×15×10	1500	1500	1000	150	2000	2000	4.00	14.1	1.48
M-15×15×12	1500	1500	1200	200	2100	2100	4.41	17.5	2.17
M-15×15×14	1500	1500	1400	200	2100	2100	4.41	20.2	2.45
M-15×15×16	1500	1500	1600	200	2100	2100	4.41	22.9	2.72
M-15×15×18	1500	1500	1800	200	2100	2100	4.41	25.6	2.99
M-15×15×20	1500	1500	2000	200	2100	2100	4.41	28.3	3.26

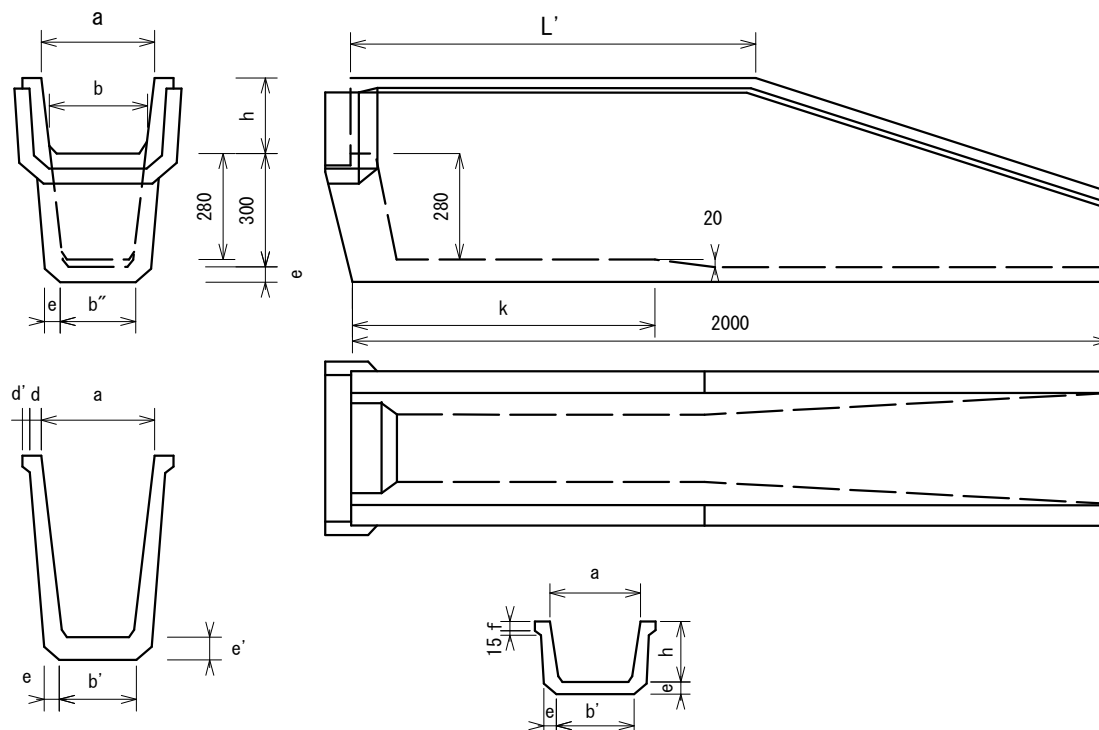
※数量は接続水路等の数量を控除していないため、設計計上の際は
コンクリート及び型枠控除分を差し引き(φ300以下の管類除く) 使用する
こと。

単位：mm

土地改良事業標準設計

工種	農道	区分	
図面名称	現場打水槽工数量表		
コード	(参考図)		

落差フリューム(RF)工



(参考)規格寸法表(mm)

規格	寸 法												参考重量 kg/本
	a	b	b'	b''	d	d'	e	e'	f	h	k	L'	
200	200	170	114	110	30	20	35	55	25	150	800	1000	180
250	250	215	159	155	30	20	35	55	30	175	800	1000	199
300	300	260	204	200	30	20	40	60	30	200	800	1000	255
350	350	300	240	236	35	25	45	65	35	235	800	1000	313
400	400	345	286	282	40	30	50	70	40	260	900	1100	372
500	500	435	378	374	45	35	55	75	45	320	900	1100	484
600	600	520	478	474	45	35	60	80	50	380	900	1100	598
700	700	610	553	549	50	40	70	90	50	440	900	1100	767
800	800	695	635	631	50	40	75	95	50	490	1000	1200	900
900	900	785	726	722	55	45	85	105	60	550	1000	1200	1144
1000	1000	875	817	813	55	45	90	110	60	600	1000	1200	1324

単位: mm

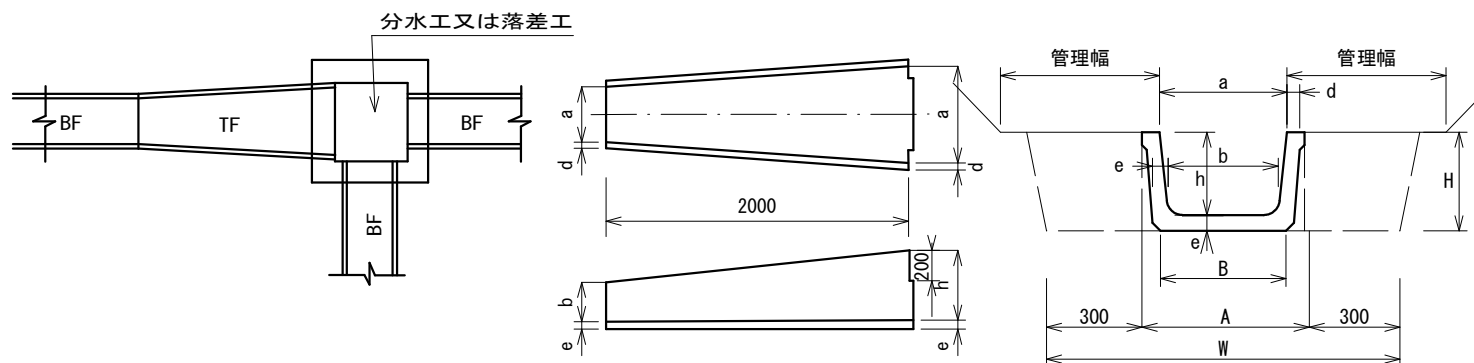
注 意 事 項

- 鉄筋コンクリートベンチフリューム用排水路で落差を必要とする箇所に適用する。
- 出来上がり土型形状等は鉄筋コンクリートベンチフリューム用排水路工に準ずる。
- フリュームを布設する堀削幅bは床均しを行う。
- 継手はパット接合とする。

土地改良事業標準設計

工種	ほ場整備	区分	用排水路工
図面名称	落差フリューム(RF)工		
コード	(参考図)		

トランジションフリーム(TF)工



100か所当たり算出

規格	寸法																		参考重量 (kg)	
	a		b		d		e		h		L	A		W		H		B		
	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上		下	上	下	上	下	上	下		上
200	200	400	170	345	30	40	35	50	150	350	2000	300	540	900	1140	185	400	205	395	183
250	250	400	215	345	30	40	35	50	175	375	2000	350	540	950	1140	210	425	250	395	197
300	300	600	260	520	30	45	40	60	200	400	2000	400	760	1000	1360	240	460	300	580	274
350	350	600	300	520	35	45	45	60	235	435	2000	470	760	1070	1360	280	495	345	580	311
400	400	600	345	520	40	45	50	60	260	460	2000	540	760	1140	1360	310	520	395	580	337
500	500	800	435	695	45	50	55	75	320	520	2000	660	980	1260	1580	375	595	490	770	480
600	600	800	520	695	45	50	60	75	380	580	2000	760	980	1360	1580	440	655	580	770	539
700	700	1000	610	875	50	55	75	90	440	640	2000	880	1200	1480	1800	510	730	680	965	726
800	800	1000	695	875	50	55	75	90	490	690	2000	980	1200	1580	1800	565	780	770	965	789
900	900	1200	785	1075	50	60	85	100	550	800	2000	1100	1420	1700	2020	635	900	870	1150	999
1000	100	1200	875	1075	50	60	90	100	600	800	2000	1200	1420	1800	2020	690	900	965	1150	1088

単位：mm

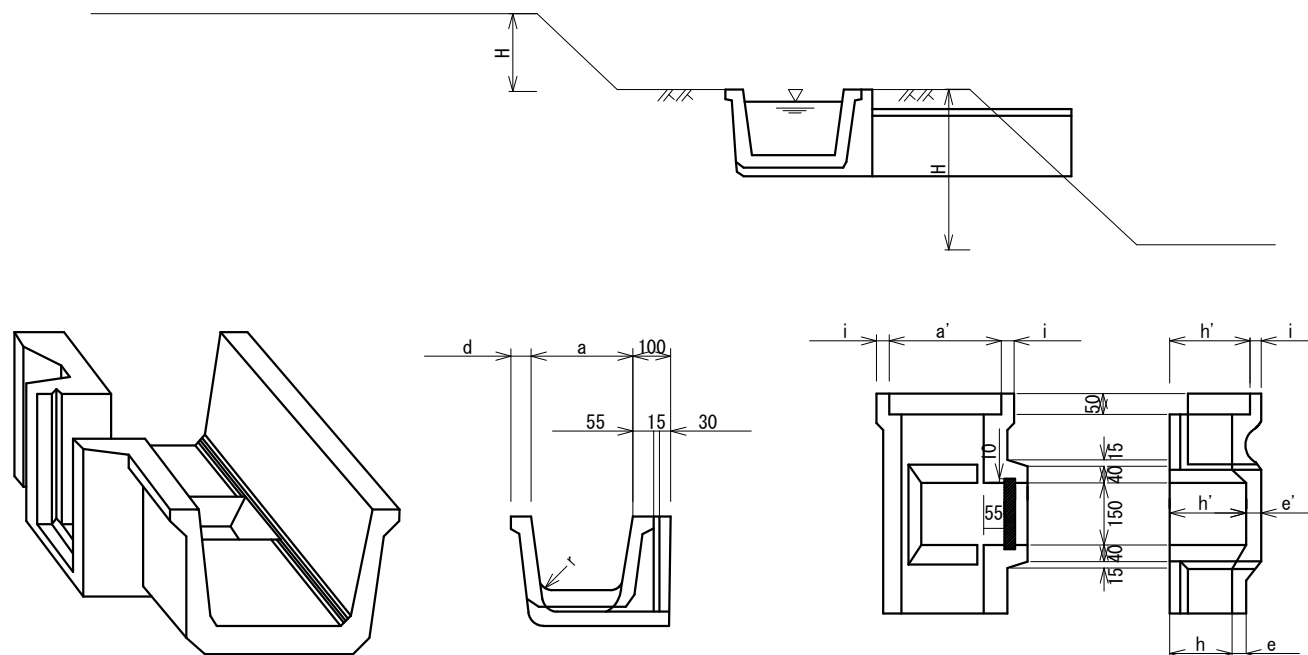
注 意 事 項

- 鉄筋コンクリートベンチフリーム用排水路の分水工及び落差工の出口の箇所に適用する。
なお、地区の状況から分水工と直接接続しても流れに支障のない場合は省略してもよい。
- 出来上がり土工形状等は、鉄筋コンクリートベンチフリーム用排水路工に準ずる。
- 堀削面はBについて、床均しを行う。
- 堀削余裕幅は左右30cmずつとする。

土地改良事業標準設計

工種	ほ場整備	区分	用水路工 排水路工
図面名称	トランジションフリーム (TF)工		
コード	(参考図)		

普通掛口 (FK) 工



規格寸法表 (参考)

規格	寸法 (mm)												参考質量 (kg)
	a	b	d	e	h	r	a'	h'	i	e'	L	合板高	
200	200	170	50	35	150	30	274	195	30	30	500	260	34
250	250	215	50	35	175	30	323	220	30	30	500	280	40
300	300	260	50	40	200	40	375	250	30	30	500	310	53
350	350	300	60	45	235	50	433	285	30	35	500	350	72
400	400	345	70	50	260	50	492	310	35	45	500	370	86
500	500	435	80	55	320	60	601	370	35	50	500	430	110
600	600	520	80	60	380	60	701	430	35	60	1000	490	237
700	700	610	90	70	440	70	812	490	40	70	1000	550	330
800	800	695	90	75	490	70	912	540	40	75	1000	600	389
900	900	785	100	85	550	80	1024	600	40	80	1000	660	420
1000	1000	875	100	90	600	80	1123	650	40	90	1000	710	491

単位 : mm

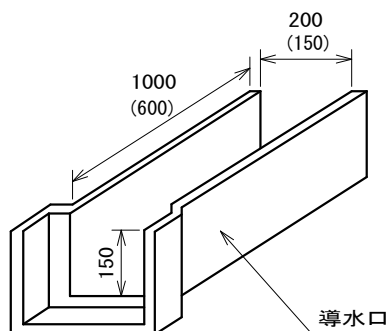
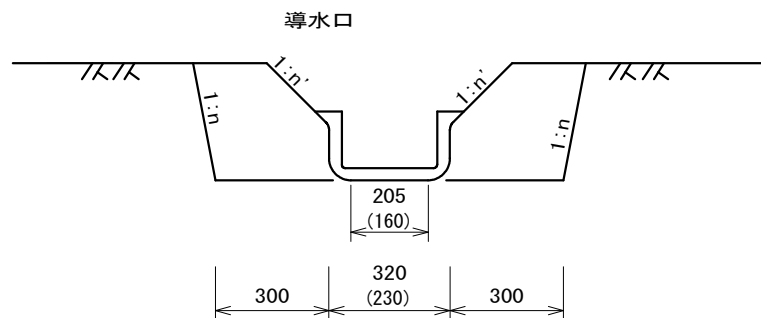
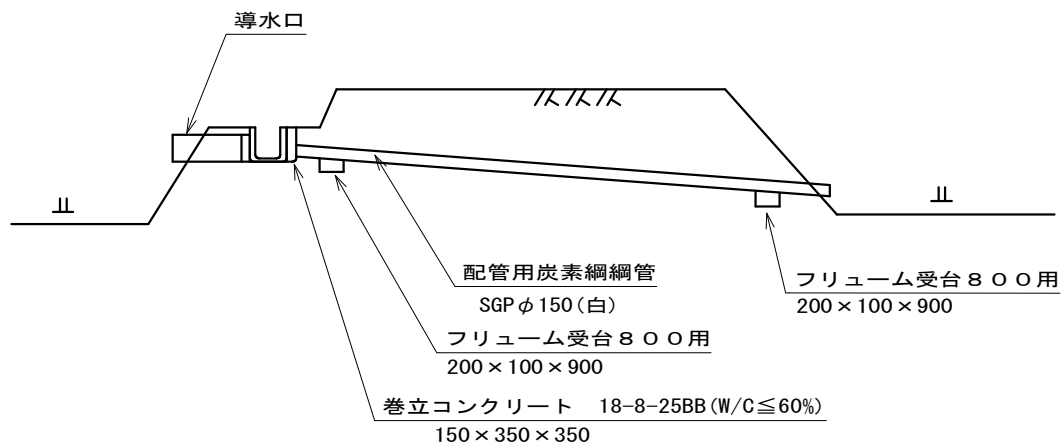
注 意 事 項

- 鉄筋コンクリートベンチフリューム水路の取水ヶ所に適用する。
- 出来上り土型形状等は、鉄筋コンクリートベンチフリューム水路工に準ずる。
- 導水部は、導水口 (L=600~1000) 使用とするが、道路横断部はSGP φ150 (白) を使用する。
- 接合部はフリューム用パットを使用する。
NUJ式を使用する場合は、接合部をボルトにより連結させる。

土地改良事業標準設計

工種	ほ場整備	区分	用水路工
図面名称	普通掛口 (FK) 工		
コード	(参考図)		

導 水 工

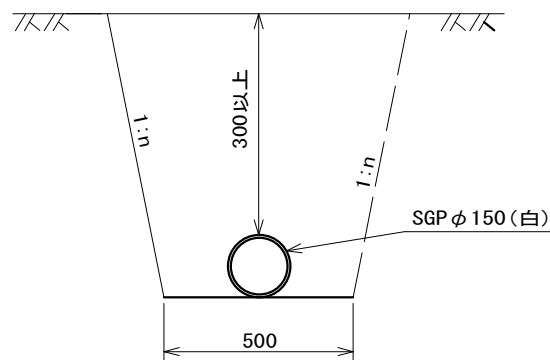


上段：200型
() 内：150型

巻立コンクリート 100ヵ所当り

コンクリート量 (m3)	型枠 (m2)
1.52	22.75

道路遮断部



注 意 事 項

1. 用水路掛口から水田へ導水する場合に適用する。
2. 配管用炭素鋼鋼管は、白管とすること。
3. 管を布設する堀削面は偏荷重を受けないよう入念に床均しする。
4. 受台にBF2種蓋等を加工して代用する場合は、切断面露出鉄筋部の防食等の処理を適切に行う。
5. 受台を現場打コンクリートで設置する場合は、「丘打→設置」を前提とした積算とする。

なお、使用するコンクリートは、18-8-25BBとする

土地改良事業標準設計

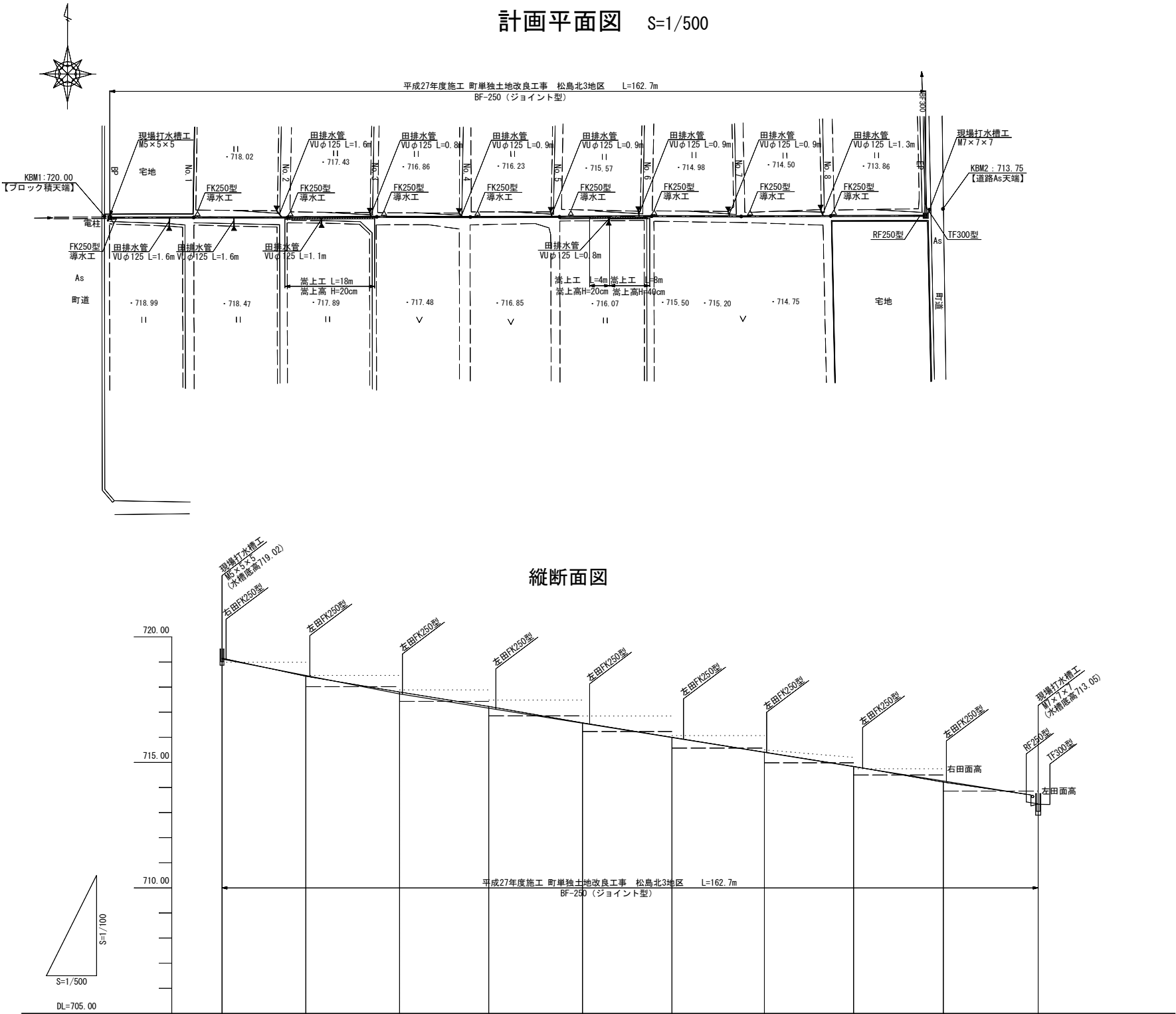
工種	ほ場整備	区分	用水路工
図面名称	導 水 工		
コード	(参考図)		

単位：mm

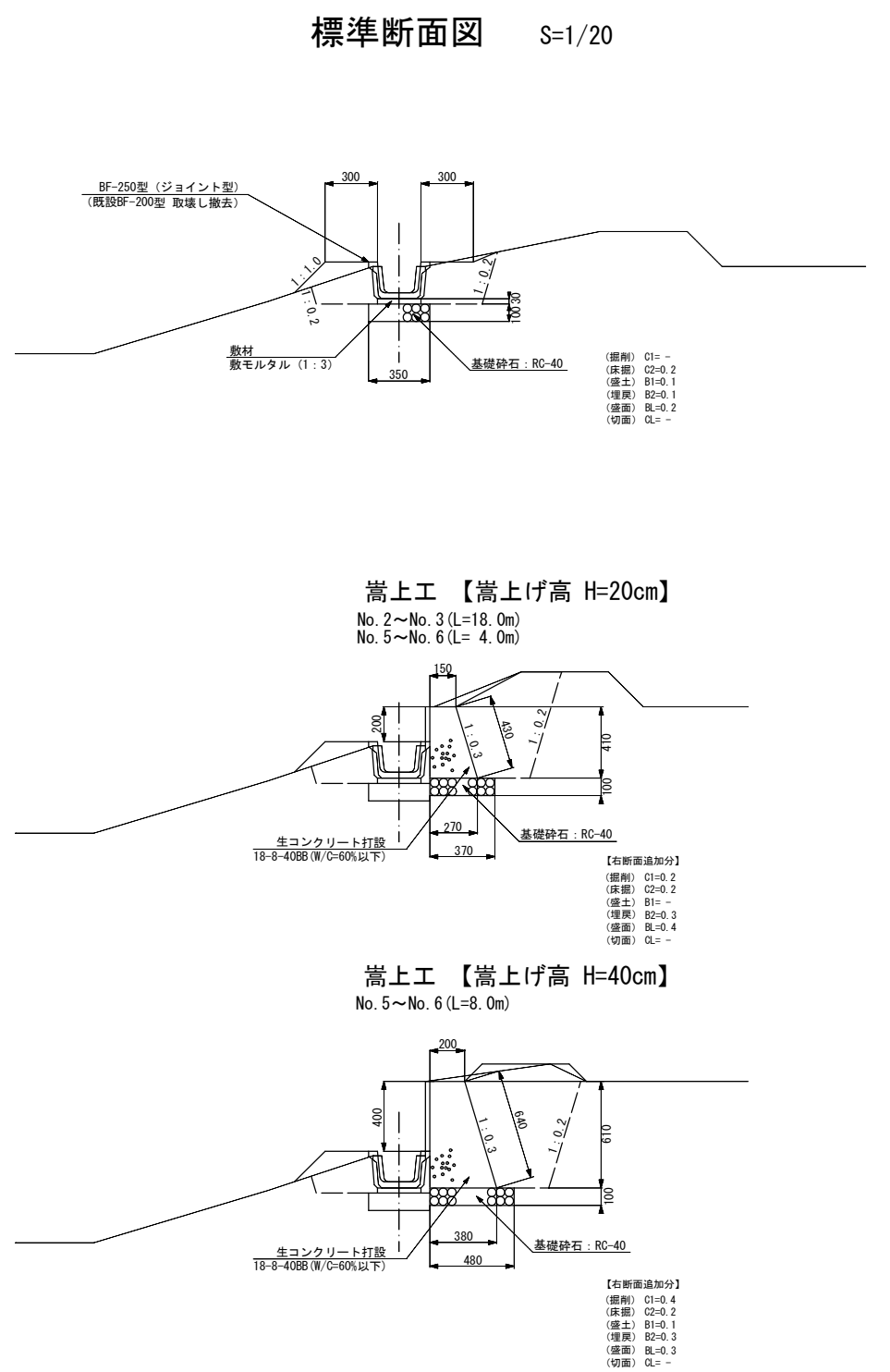
平成27年度 町単独土地改良工事

松島北3地区実施設計図面目録

図 面 目 録		
図面番号	図 面 名 称	枚 数
1 / 1	水 路 改 修 計 画 図	1
計		1

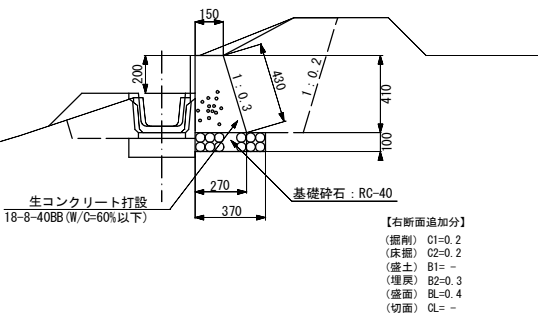


勾配図										
盛土		0.03							0.05	
切土	0.03		0.08	0.07	0.02	0.01	0.01	0.01		
計画水路底高	719.15 (上流端) 719.12 (下流端)	718.43	717.73	717.16	716.56	715.99	715.40	714.83	714.26	713.35 (上流端) 713.33 (下流端)
現況水路底高	719.15	718.43	717.81	717.23	716.58	716.00	715.41	714.84	714.21	713.35
追加距離	0.00	16.70	35.40	53.20	71.90	89.70	108.1	125.90	143.80	162.70
点間距離	0.00	16.70	18.70	17.80	18.70	17.80	18.40	17.80	17.90	18.90
測点	BP	NO.1	NO.2	NO.3	NO.4	NO.5	NO.6	NO.7	NO.8	EP



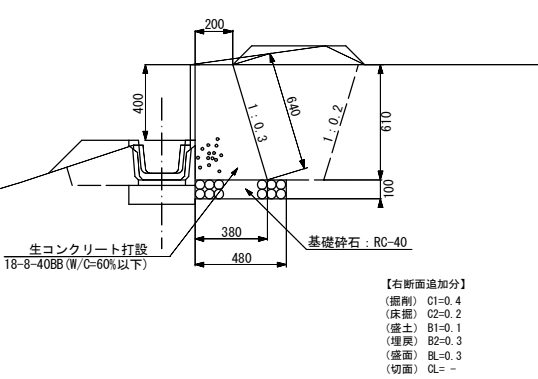
嵩上工 【嵩上げ高 H=20cm】

No. 2～No. 3 (L=18.0m)
No. 5～No. 6 (L= 4.0m)



嵩上工 【嵩上げ高 H=40cm】

No. 5～No. 6 (L=8.0m)



事業名	平成27年度 町単独土地改良工事		
地区名	松島北3地区		
図面名称	水路改修計画図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 1
作成年月日	平成 年 月 日		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	箕輪町 産業振興課		
施工			